

子育ての方針を変える時期でしょうか？

小学4年生になった息子がいます。これまでは、比較的親の言うことをよく聞いてくれていました。しかし、最近「宿題をやってから遊びなさい。」と言っても、「ないよ。」と嘘をついてテレビをみていたり、「勉強しなさい。」と言うと、暴れたりすることもみられるようになりました。このような息子と、どのように向き合っていったらよいのでしょうか。

（小学4年生の男子の母）

一般的に、小学校高学年に近づく頃から高校の頃までは、急激な身体的変化が生じる第二次性徴期と言われます。また、親に全面的に依存をするのではなく、反抗的な態度をとるようになることから、反抗期とも呼ばれます。

この時期は、幼い頃は親の言うとおりにしていた子どもが、いろいろな経験から自己判断したくなる時期です。これは成長の証ですし、自立の始まりとも言えます。親御さんとしては、命令調で何かをさせるのではなく、自らやる気持ちに仕向けることが大切です。そこで、まずは、本人と話をし、「どんな大人になりたいのか」や「将来どんな暮らしをしたいのか」などを聴いてみましょう。そして、勉強する理由を一緒に考えながら、「生活の決まり・日課表」などを自分で作り、それに沿って努力するという「自立のための行動」を促してみましょう。その際、できるだけ干渉せず、目配りをし、命令したい場面では、「お母さんはこう思うけど、あなたは思うの？」とお子さんの意思を尊重していきたいものです。